



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成 —

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 13 号

令和7年9月12日発行

文責 校長 米倉佳美

全国学力・学習状況調査の結果①【全国学力調査について】

4月17日（木）に、文部科学省が全国の中学3年生を対象に行った「全国学力・学習状況調査（国語・数学）」の結果についてお知らせします。

【調査の目的】

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査内容】

①教科に関する調査（国語、数学、理科）

※中学校理科は、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式での実施

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

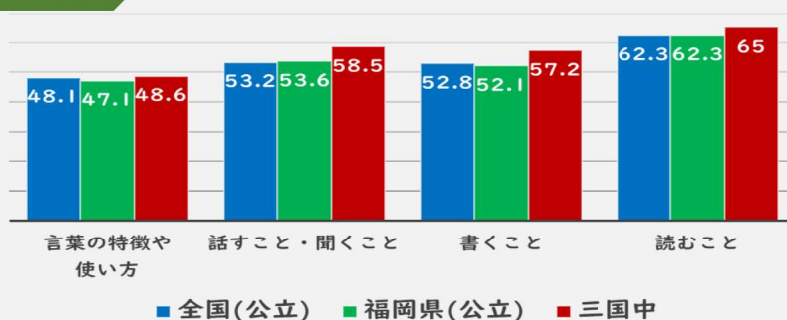
②質問調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

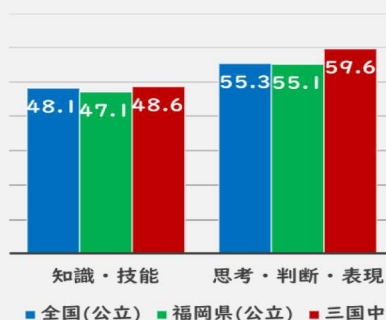
令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料は以下の URL
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

国語

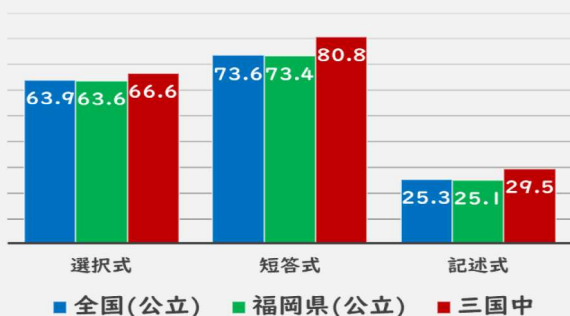
〈国語 学習指導要領の内容〉



〈国語 評価の観点〉



〈国語 問題形式〉



国語では、平均正答率において、全国を 3.7 ポイント、県を 4 ポイント上回る結果となりました。

正答率が比較的高かったのは、スライドを使って「プロジェクトの長所→プロジェクトの内容」の順序で説明する際、順序を入れ替えて「内容→長所」としたほうがよいという助言の意図を捉えるという問題でした（思考・判断・表現力「話すこと・聞くこと」全国+6.8 福岡県+6.8）。この問題は、論理の展開に注意

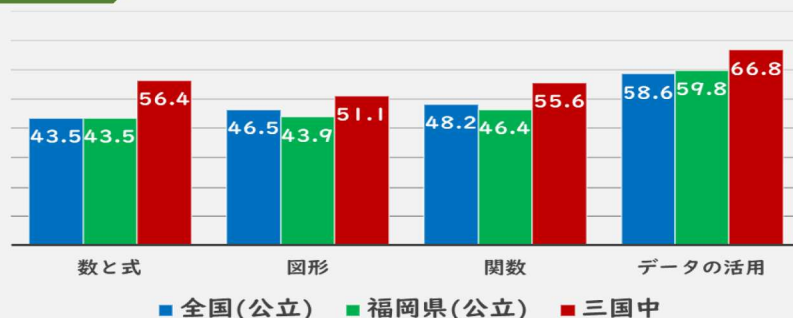
して話の構成を工夫することができるかどうかをみる問題でした。

一方で、全国・福岡県ともに平均正答率は上回っているものの正答率が低い傾向にあったのは、「ちらしの読み手に向けて、今年の特展の工夫について伝える文章を書く（思考・判断・表現力「書くこと」37.2）」、「発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く（思考・判断・表現力「話すこと・聞くこと」31.6）」、「手紙の下書きを見直し、修正したほうがよい部分を見つけて修正し、修正したほうがよいと考えた理由を書く（思考・判断・表現力「書くこと」31.2）」問題でした。

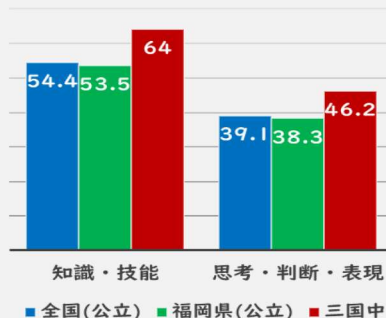
「読み手の立場に立って」「自分の考え」「根拠を明確に」を意識した表現ができるようになるために、日々の学習に取り組んでいってほしいと思います。

数学

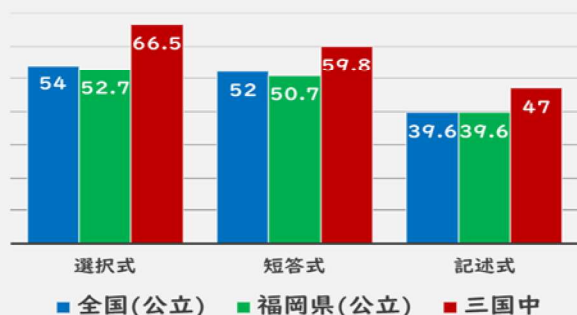
〈数学 学習指導要領の領域〉



〈数学 評価の観点〉



〈数学 問題形式〉



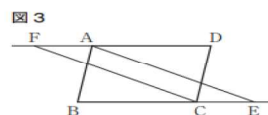
数学では、平均正答率において、全国を8.7ポイント、県を10ポイント上回る好結果となりました。各領域において、バランスよく力がついています。特に「数と式」では、全国、福岡県ともに12.9ポイントも上回りました。

正答率が比較的高かったのは、A駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればC駅とD駅の間の走行距離が分かるかという問題でした（知識・技能「関数」全国+11.9 福岡県+13.4）。この問題は、事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題でした。

一方で、全国・福岡県ともに平均正答率は上回っているものの正答率が低い傾向にあったのは、「 $3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する（思考・判断・表現力「数と式」34.4）」、「平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上に $BE=DF$ となる点E、Fを取り、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとしたとき、四角形AGCHが平行四辺形になることを証明する（思考・判断・表現力「図形」34.0）」問題でした。

「式の意味を読み取る」「数学的な表現を用いて説明する」「証明する」等の力を身に付けることができるよう、粘り強く課題に向き合っていってほしいと思います。

（3）次の図3のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上に、 $BE=DF$ となる点E、Fをそれぞれとります。



このとき、四角形FCEAは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。

証明2

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、
 $AD \parallel BC$
 よって、 $FA \parallel CE$ ①
 平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、
 $AD = BC$ ②
 仮定より、
 $DF = BE$ ③
 ②、③より、
 $DF - AD = BE - BC$ ④
 ④より、
 $FA = CE$ ⑤
 ①、⑤より、
 1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、
 四角形FCEAは平行四辺形である。

さらに、次の図4のように、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとすると、四角形AGCHも平行四辺形になります。

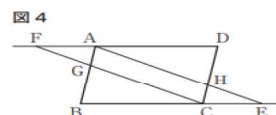


図4において、四角形AGCHが平行四辺形になることは、2組の向かい合う辺がそれぞれ平行であることを示すことで証明できます。四角形AGCHが平行四辺形になることを証明しなさい。ただし、四角形FCEAが平行四辺形であることはすでにわかっていることとします。